

2018年1月吉日

軟包装印刷を、小ロット、低コスト、無溶剤、で実現する間欠式オフセット輪転機 VAR18B を発売

株式会社ミヤコシ（本社：千葉県習志野市、代表取締役社長 宮腰亨、以下ミヤコシ）は、軟包装用間欠式オフセット印刷輪転機、VAR18B を製造、2018年3月に共押出多層インフレーションフィルムメーカーでありグラビア印刷も手掛ける四国化工株式会社（本社：香川県東かがわ市、代表取締役社長 入交正之、以下四国化工）に設置、納品を行います。

これまでの軟包装印刷はグラビア印刷方式が主流で、高コストで時間がかかる製版、特色が多く段取りでインク交換が発生する、という課題から、小ロット対応は困難とされてきました。また印刷過程で有機溶剤を使用する事から、環境問題対策が必須でもありました。

今回のミヤコシ VAR18B は、製版が極めて容易、かつ圧倒的に低コストであるオフセット印刷を採用することにより、小ロット軟包装印刷を環境に負荷なく実現しました。さらにオフセット印刷の課題であった、天地サイズ変更に対応する版胴交換を、間欠方式を採用とすることによって不要とし、ジョブ入れ替え時間を圧倒的に短縮しました。

ミヤコシ VAR18B が提供する価値

1. ジョブの入れ替え時の段取り時間の圧倒的な短縮
 - (ア) オフセット印刷の版交換の容易さを、軟包装印刷で実現しました。
 - (イ) 従来のオフセット印刷の課題であった天地サイズごとの版胴交換を不要とし、版交換のみでのジョブの入れ替えを実現しました。
 - (ウ) これらにより本機校正を可能としました。
2. オフセット印刷のメリットである、短時間、低コストの製版工程をそのまま軟包装印刷で実現しました。
3. 溶剤を使用しないことにより、環境負荷、オペレーターの健康負荷を大幅に低減しました。

結果として、従来困難とされてきた軟包装印刷に小ロット印刷を、短納期、低コストで実現することが可能となりました。

今回はこの価値をご評価いただき、共押出多層インフレーションフィルムメーカーでありグラビア印刷も手掛ける 四国化工様にてご採用いただきました。

四国化工様 代表取締役社長 入交様からも、「長年気になっていたオペレーターの健康問

題からも解放される」とコメントを頂いております。

搬入、設置に先立ちまして、ミヤコシの製造会社である宮腰精機株式会社国見工場において、オープンハウスを実施します。

オープンハウスでは実機デモに加えて、四国化工様 代表取締役 入交様をお招きし、導入決定に至る経緯等のお話を賜る予定です。

広く軟包装印刷を行われているグラビア印刷会社様、オフセット印刷会社様にご来臨賜り、盛大に執り行う予定です。

オープンハウス概要

日時 2018年2月20日、21日

場所 宮腰精機株式会社国見工場

秋田県大仙市太田町国見字稲荷堂162

お申し込みお問い合わせ

株式会社ミヤコシ

L&I 営業課 : 藤谷

電話番号 : 047-493-3854

メールアドレス : sin.fujiya@miyakoshi.co.jp